

刈谷豊田総合病院
市民公開講座

日 3月19日(土)

午前10時30分～正午

場 刈谷豊田総合病院・診療棟5階
内 進化するがんの薬物療法

講 吉田憲生氏(医師)、榊原隆志氏
(薬剤師)、七里京子氏(看護師)
問 刈谷豊田総合病院広報グループ

☎ 051-0215

ボーイスカウト募集行事
親子野外活動体験

日 3月20日(日祝) 午前10時～午後0時
30分(小雨決行)

場 大山緑地 馬場付近

内 飯ごう炊さんなど、子どもが主体
となった活動体験

募 平成27年度小学校1～3年生(男
女不問)と保護者 50人程度(先
着順)

費 無料

申 3月10日(木)までに、氏名・電話番
号・参加人数を明記の上、メール
で申込

申 問 ボーイスカウト高浜第1団(杉
浦)

☎ 060-1745-1656

scout.takahama@gmail.com

特集

お知らせ

情報ファイル

催し・募集

CAMERA REPORT

カメラレポート

1/17 2/6

タカハマ!まるごと宝箱
えんちよこ獅子を語ろう
高浜の養鰻を語ろう

1/17は、雨乞いや降雨のお礼として江戸時代に始まったといわれる「えんちよこ獅子」(愛知県無形民俗文化財)がテーマ。話し手の野口正健さん(えんちよこ獅子保存会副会長)から、写真だけでなく昭和40年代の映像も交えながら、どのように受け継がれてきたかが紹介されました。会場からは「あ、私の祖父だ!」という声も。また、獅子頭には雌雄の区別がないこと、平成6年に、高浜市をはじめ、県内13市町で夜間断水が実施されるほどの水不足に見舞われた際には、矢作ダムで演舞したというエピソードも聞かれました。



▲古地図をもとに養鰻場の位置を紹介

2/6のテーマは「高浜の養鰻を語ろう」。話し手の加藤佐弥香さん(市立図書館職員)や参加者からは「明治時代に干拓事業が行われたのを機に、ウナギの養殖場がつけられていった」「昭和40年代後半になると、養殖場は露天池からビニールハウスへと変化していった」といったエピソードが聞かれました。



▲「えんちよこ獅子を語ろう」のようす



▲獅子頭などを手にとり、見入る参加者

2/4 4月から1人で学校行けるかな?

来年度から吉浜小学校に入学する子どもと保護者が、入学説明会終了後に、吉浜まちづくり協議会の皆さんとともに通学路確認を行いました。子どもたちは、初めて歩く通学路に少し緊張しながら、安全な道の歩き方や危険な場所を教わりました。

▶通学路確認には親子合わせて70人が参加



「子ども110番の家の場所などがどこにあるかわかるので安心します。それから、地域でどんな人が見守っているのかわかるのもいいですね!」と参加者のお母さんが話してくれました。「地域みんなで子どもたちを見守っていこう」という温かい気持ちが伝わってくるような事業でした。



▲手を挙げて横断歩道を渡ります。



▲「ここは車が多いから気を付けてね」「この道は右側を歩くんだよ」